

たつみっこのための

H27. 2. 26



# すたなび

NO. 55

辰美小学校

## “言語活動の充実”をめざして

1月号、2月号の「すたなび」は「言語活動の充実」をめざして」と題して、2回に渡って、「言語活動」をテーマに、どのような授業・学級作りをしているのかを紹介합니다。1月号では高学年・専科・新学習システム、2月号では低学年・特別支援での実践を紹介します。

1年生では、帰りの会などでその日に学習したことや体験したことを発表する場を設けています。活動当初は数名が発表するだけでしたが、回数を重ねることによって、多くの児童が積極的に自分のことを振り返り、思いを伝えるようになってきました。



一つください。

お一つですね。

また3学期には、2年生を教室に招待し、「おみせごっこ」を行いました。「ごっこ」とはいえ、実の場で話すこと・聞くことの学習を促すことができます。挨拶から始まり、どんな言葉を使えばやり取りがうまくいくか、「おみせやさんごっこ」という楽しい遊びを学習の中に位置づけることで児童の主体的な活動ができました。

1年担任 阿部 真紀子

辰美小学校では、教室にノートパソコン・実物投影機、プロジェクターなどの機器が整備されています。そこで、これらの機器を積極的に授業に取り入れています。私は、3年生の理科も教えています。普段の授業では、子ども達の立場に立って全員が学習の内容を理解できるように心がけて準備し、実践しています。

理科では、実験・観察時にできるだけ一人一人が取り組めるように準備をしています。そして、実際の事物を提示したり、また実体験ができにくい教材でも少しでも類似した経験ができる工夫もしたりしています。基本的には「課題→予想→実験・観察→結果→考察」の流れを基に児童の探究心を大切にしながら学習を進めています。その過程で予想、結果、考察については、子ども達にまずホワイトボードやノートに書かせて、それらをもとに話し合いの時間をとって思考を深めていくように努めています。

正木 隆博

### ① 音読を大切にする

音読は、「話す」や「読み取る」力のもとになるものです。繰り返し読むことで、語彙が増えたり、文章の内容を理解したりすることにつながってきます。

### ② 語彙を増やす学習

国語科の各単元の新出漢字を学習する際にも、ただ単に読みや筆順などを学習するのではなく、熟語を知り、またその意味や使われ方から、一文字一文字に意味がある漢字の特性を生かして、語彙を広げていけるようにしています。

### ③ 体験を言葉にする

低学年では特に、自分の体験したことを話したり、文章に書いたりすることが、話したり、友だちの話を聞いたりする力につながります。また、その時に感じたことや質問も大切にしています。そして、それが、考えたり、感じる力につながっていきます。

2年担任 野口 陽子

3年生では、友だちと話し合う場面をできるだけたくさん作るようにしています。その中で、まずは、「相手の話を受けとめる」ことができるようになってほしいと考えています。朝のスピーチでは、インタビュー形式で毎日1人がテーマに沿ったお話をしてくれます。インタビュアーはもちろん、聞いている全員が決まった言葉を使って相づちをうつようにしています。

1. ~というど? → うんうん
2. もう少し くわしく教えて → なるほど なるほど
3. エピソードを 教えて → そうなんだ~

聞き手が相づちをうってくれることで、話し手は安心してお話しすることができます。1年間続けていくうちに、普段の場面でもこのような相づちをうちながら話を聞くことができる子も出てきました。

また、絵本の読み聞かせにも力を入れています。読んでいる途中で、「次はどうなると思う?」「みんなだったら、どうする?」と問いかけると、子どもたちはお話の世界に入り込み、次々と想像をふくらませます。相手の気持ちを考えることにつながっていきます。これからも、あたたかい雰囲気と、楽しい気持ちを大切に、言語活動を進めていきたいと思っています。

3年担任 佐々木 美幸

たんぼぼ学級では、楽しいコミュニケーションを第一に考えています。誰でも、楽しいときや嬉しいときは沢山の言葉が出るし、気分が沈んでいると無口になりますよね。ですから、楽しい雰囲気は大事だと思います。

話すときには、  
“目を見て” “表情豊かに” “言葉をはっきり表す”ことを心がけ、  
一緒に言ったり、繰り返したり、おうむ返しをしたり、ジェスチャーをつけたり  
…いろいろな方法で言葉を引き出すようにしています。

低学年の図工の授業。子どもたちは作品に取り組む過程で、想像(創造)しているイメージやストーリーをいっぱい持っていて、「これは何してるところなん?」と尋ねると嬉しそうにいっぱい語ってくれます。その言葉を大事にしたいなと思いつつもなかなか全員の話をしつくり聞かぬ時間がないのが現状です。なので、作品発表会を持ち、作品にこめた自分の思いを発表する機会をつくっています。

たんぼぼ学級担任 引田真弓

